

毎回書きやすい様にテーマを出して、生活雑感など自由な意見も書いて19冊目です。経験のメモですから面白く、20代の人から素直に読めて、

現在の時代、私たちの生活メモが、世代メッセージになる！ちゃんと残してあげましょう。
(石川台 山野辺 慶子)

母校の思い出 ⑧

良き先生との出会い



私が池雪小学校に入学したのは、昭和34年4月。

6年間学校に通っている間には様々な出来事がありました。まず記憶にあるのは校舎の改修、給食室の工事などで、のべ3年間はお弁当を持っていった思い出があります。

木造の校舎が太い何本ものコロの上を少しづつ動いていくのを見て、何故あの重い建物が動くのかと不思議でたまりませんでした。

現在ある西側の校舎とスタンドが先に建てられ、おって東側の校舎が完成したものと記憶しています。当時のプールは現在ある体育館の脇にあり、体育館がどの位置にあったのかは覚えていません。

給食室の工事のおかげで、あの脱脂粉乳のミルクはあまり飲まなくてすんだのは吉。お砂糖のついた揚げたコッペパンを少ししか食べられなかったのは残念。

何年生の時かは忘れましたが、ある日の放課後、デパートの屋上に付いていたアドバルーンが強風に飛ばされ、裏門の道路に落下してきました。何人かの子供たちが、その上を跳んだりねたりしているうちに、突然爆発し顔や手に大怪我をした事件もありました。

私が6年生の時の担任は、背の高いとても温厚な男の先生でした。体育の時間がけっさくで、男の子は先生と野球。「女の子は今、流行っている事で遊びなさい。」といった調子。そろばんの授業では、将来的に英語を少しでも早く覚えておいたほうが良いと、英語の勉強をしていました。現在ではとても考えられない事ですが、保護者からは誰一人として苦情は無かったと思います。

自分自身の考えで教育し、子供たちの目線でいつも話をしてくれた先生。私は先生がとても好きでした。こんな先生が再び現れることを期待します。

(上池上 K.U)

ふれあい雪谷

平成14年
新年号



(小池 M・Yさんの作品)

サークル紹介 ⑬

「皆で少しづつ自分史」

一世紀を生きている会

「百年くらい、面白がつて生きてみるかい？」の気持ちで作りました会が早4年目に――。

自分たちが生活して来た道程を少しづつメモして、奇数月に『地球小僧』と名づけて発行しています。

毎回書きやすい様にテーマを

出して、生活雑感な

ど自由な意見も書け

て19冊目です。経験

のメモですから面白

く、20代の人から

素直に読めて、

毎号楽しみに待たれ、勉強になると言われて嬉しいこの頃です。

皆様からは

便箋やノートの紙等に走り書きでも良くて。個性豊かな楽しい文章に仕上げています。自然に自分史が出来て行くと生き甲斐にしている人も――。

現在この冊子は洗足池図書館の自費出版コーナーに全号置いてあります。

今の時代、私たちの生活メモが、世代メッセージになる！ちゃんと残してあげましょう。

(石川台 山野辺 慶子)



私の健康法 ⑦

この地にお世話になってもう六十余年になります。その間特に自分の健康法について考えたことはありませんでした。

今、振り返って考えてみますと、昭和五十年の秋の頃に中学の同級生四人から「健康のため山歩きをしないか。」と誘われ、以後月一度は関東近郊を主とした山歩きをしています。

それから、町会役員在職中に役員有志で「役玉会」と言う名前です。一回ボーリングを楽しんでいましたが、その内に会場が閉鎖になり一時解散となりました。

改めて有志により、蒲田のイモンボール場の中にあります「楠木会」と言う名前のボーリング会に入れて頂き、現在も最年長者としてやっております。

他に、第一・第三木曜日に水墨画の勉強をしています。時折、気候の良い季節には誘われてゴルフをやっております。

食事は毎日三食欠かさずいただいております。幸いにも入歯はなく、自分の歯で健康を保っております。

これからも皆様のご指導を受け、頑張つて勉強をしていきたいと思っています。

(石川台 渋谷 武次 80歳)

【編集後記】

二十一世紀もはや二年目を迎えた。「ふれあい雪谷」も十年の実績を経て、内容の充実、斬新な記事にと、編集委員全員取り組んでいきたい。今年にはサッカーのワールドカップの開催、ソルトレークの冬季オリンピックと大きな行事もあり、新しい企画を目ざしたい。読者の皆さんの、ご意見を気軽に聞かせてください。

(南雪谷 飯田七造)

〔発行〕 わがまち大田雪谷地区推進委員会

〔編集〕 ふれあい雪谷編集委員会

連絡先 雪谷特別出張所

大田区東雪谷四一三一二三

電話 三七二九一五一七

〔発行日〕 平成十四年一月一日

通巻第四十五号

午年生まれ 今年の抱負



【12歳】

今年は小池小学校の6年生になり、最後の年の学校生活です。学習に、友達との遊びに、たくさん思い出を作っていきたいと思います。

目標は剣道の練習、そして英語の勉強をし外国人と話せる警察官になりたいと思います。

(小池 S. M)

【24歳】

横浜の私学学校で、化学の教師と硬式野球部のコーチをしている。野球部は神奈川県でベスト4に入る程のレベルである。

汗と泥にまみれ、生徒たちと共に甲子園出場を目標に練習に励んでいる。夢の実現をめざして!

(上池上 松本)



【36歳】

自立支援を目的とした援助団体に所属する主人と結婚し、エチオピアで暮らし始めて5年になります。こちらは異常気象などの自然環境の変化で緊急援助を必要とする地域もありますが、10年前のような内戦や、飢餓で苦しむことはなくなり、平和な国になりました。

今年は帰国する予定です。今まで出逢った方々を大切にしながら、心機一転! 「出逢いを大切に」これからも家族4人で、心豊かに平和な日々を過ごしてゆきたいと思っています。

(池の台 野田 淳子)

【60歳】

60歳まだまだ先の話ね! と思っていました。

やりたい事がまだ一杯あります。最近「カメラ」に凝っています。絞り込んだファインダーの中の世界はとても素敵です。

新たな感動が待っています。何時までも感動出来る気持ちを持ち続けたいと思っています。

(南雪谷 宮田 ミチ子)

【84歳】

1985年退職。

家内と富士登山以来あちこちの山登り、最近では立山アルペンルート、上高地など気軽な山歩きです。

「荒れた世代をあくせくやってきた二人。あとは悠々と過ごせ」と言う息子と娘の支えもあって今年は何処にしようかとお屠蘇の乾杯で迎えた7回目の午年です。

(東雪 津端 為太郎)



【72歳】

今年は午年。雪谷の地に生まれて72年。新世紀初めて迎えた年男の一人です。今も現役で、父より受けついで家業に専念しています。

私は呑み川のそばで育ちましたが、今でも池上まで続いたあの見事な桜並木を思い出します。小学生の低学年頃までは水もきれいで鯉・鮒・うなぎ・その他小魚がたくさん生息していました。しかし戦争が激しくなるにつれて川もよごれ、魚もいつしか姿を消しました。今、時代が大きく変わり川も深くきれいになり、一部には桜が植樹され、鴨まで飛来する様になりました。

平和な街、緑の多い街づくりが今後の課題かと思っています。今年も健康に留意して、マイペースで頑張ろうと心がけて出発します。

(希望ヶ丘 菊池 孝)



季節と健康

「お餅が」



救急医療の上で、正月に多くみられる医療の一つがお餅による事故です。久しぶりにお正月に皆が揃って、お祝い膳を囲んでの団らん。いつもはゆっくりした物腰で穏やかなお年寄りが、皆が揃うため張り切って話しも弾みお餅を口にしたらまで大笑いしたりして、そうです、好事魔多しなのです。

気管にお餅が入る事故は毎年正月に数十件起きています。これが、普通の誤飲(誤って食べ物を食道ではなく気管にいれてしまう事故)と違ってお餅の場合は気管に着いてしまうのが厄介です。

もっと厄介なことは、口の中に手を入れてお餅の一部をつかまえて、やれ良かったと引っ張り出したとしても、これが伸びてしまってなかなか全部取れない事です。特に声帯に着いた場合、声も出ないし狭くて空気も入らない。お年寄りですと激しい咳払いもままならず、見る見る顔が赤から青に変わりどす黒くなってしまいます。

素人には手に負えない事が多いのですが、救急車を呼んだときには事切れていることも良くあるようです。

予防するには、お年寄りにはお餅を小さく切って食べてもらう様にします。お餅以外で危険を伴う誤飲する物としては、筋張ったお肉やマグロのトロ、噛み砕きにくい昆布やスルメ等も気管に引っかかり易い様です。

お年寄りが何故誤飲し易いかと言いますと、喉や舌の軽い麻痺が起り易く、気がつかない内に両方の脳の軽い障害がある事もからず。

食事はゆっくりと良く噛んでする心がけが必要です。

(真田クリニック 院長)

美しい環境づくり ②

私たちの仲間

私たちの会は、平成3年10月「東雪リサイクル有志の会」として産声を挙げました。新聞・雑誌・ダンボール・アルミ缶の集団回収です。

平成6年7月、ビン・缶の分別回収が実施され、その間にいろいろ屈折がありましたが、雑誌の回収を休止とし、新聞とダンボールに集約、毎月第二日曜日が実施日です。

現在集荷場所は15ヶ所程ですが、2台のトラックで集め、ダンボールは業者の車に積み込み、新聞は翌朝の仕事です。晴雨に関係なく、毎回25~30名の仲間が朝10時作業開始、前日の酒を汗に変え黙々と作業をこなします。

汗の後の一杯が至福の一時、仲間の奥さん方の手料理で舌づみ、ひと時の楽しみを味わいます。ただ一つだけ申し訳なく思うことは、仲間から会費を徴収しその日の飲食代にすることです。

日曜日の朝寝を楽しみたい時に、会費をポケットに、作業を手伝いに来る仲間の有難さをつくづく感じます。

会の主旨はゴミの減量ですが、皆様のご協力を頂き、少しでも役立てればと頑張っています。そして仲間の和が益々大きく広がることを祈るばかりです。

(東雪リサイクルの会幹事長 国府方 修三)

自治会リレー随筆

「よろこび」

「こんにちは、お久しぶりです。」



若い子づれのご夫婦から挨拶されました。はて? 誰だったかな、ちょっと考えていると男性の方から話しかけてくれました。「おばさん昔と少しも変わらないですね。小学校の時に世話になった〇〇ですよ…」思い出しました、20数年前の可愛らしく、やんちゃな少年の顔を、私はいつの間にか目が潤んで胸が一杯になってしまいました。

まだ若かった私たち夫婦も、自分たちの子供を育てるのに夢中になっている時でした。子供たちは街の大人によって育てられる、周りの子供たちが健康で明るく元気に遊び回ってくれば、自分たちの子供も、それと共に同じように大きくなってくれたらいいと、そんな気がしてちょっと協力していただけでしたのに…

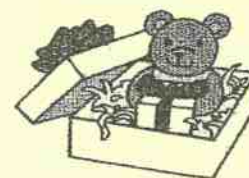
最近になって、成長した子供たちから私は声や笑顔の贈り物を少しづつ頂いています。

元気でなくては、自分自身何かしようと思ってもまた依頼されても、何もできません。有難いことに健康です。

現在の健康に感謝しながら、これからも地域の子供たちと共に暮らしたら本当に幸せだと思っています。

今は、もうすっかり「おじさん」になっている昔の少年たちよ、街で会ったら声をかけてくださいね。

おばさんより



(東中 T. S)

短歌

梅開く春の光の香り立ち
ほのかに動く草の芽吹きに

(小池 須藤 美津子)

俳句

人の背に頭を下げる 初参り

(小池 石橋 静香)

良きことのあるかも知れぬ 初詣

(小池 千代田 霞)

小さき順にひとことづつや

(南雪谷 大和 鮎)

初電話



この情報誌は古紙70%の用紙を使用しています。